

第4回 SNS カウンセリングシンポジウムのご報告

2019年5月15日（水）、ビジョンセンター永田町（東京都千代田区永田町）にて、一般財団法人全国SNSカウンセリング協議会主催の「SNS カウンセリングシンポジウム」を開催いたしました。

令和となつてはじめてのシンポジウムでは、今まで以上に具体例をみなさまにご紹介できるよう、様々な分野の講演者・パネラーの方々にご登壇いただきました。

会場には、報道関係者をあわせて200名を超える方々がお集まりくださり、みなさまのSNSカウンセリングに対する関心の高さがうかがえます。



シンポジウム冒頭では、前回から引き続き本件にご支援・ご賛同いただいております来賓の議員のみなさまより、当協議会の活動へのご感想と激励をいただきました。またあらためてSNSカウンセリングの必要性を重く受け止め国会においても積極的にご議論くださるとのお言葉も頂戴いたしました。

まず、当協議会江口代表理事理事長より開会の挨拶として「協議会においては様々なナレッジが集約されてきた。本日はそれぞれに持ち帰っていただき、周りの方と学び合って、最後に我々にフィードバックいただければ幸いです」とお伝えいたしました。

第一部の基調講演では「SNS等を活用した相談体制の構築事業の実施状況について」と題して、文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室 室長 松木秀彰様より、資料を交えながら、過去の実施結果と課題、また他機関による対応事例などご紹介いただきました。

続くパネルディスカッションでは「SNSを活用したいじめ相談に関して」として、各団体での活動内容と、現場での具体例、およびその対応をご紹介いただきました。また、共通の重要な課題として①SNSにおけるカウンセラーの訓練を強化、②予算確保が困難な自治体でのSNS相談の実施、③緊急対応可能な体制・連携の整備等を報告していただきました。

[パネラー兼コーディネーター]

古今堂 靖 様 公益財団法人 関西カウンセリングセンター 理事長

[パネラー]

松木 秀彰 様 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室 室長

尾下 恵 様 株式会社アイディアヒューマンサポートサービス
 鈴木 慎也 様 アディッシュ株式会社
 いじめ匿名連絡サイト「スクールサイン」エバンジェリスト
 高橋 誠 様 LINE 株式会社 公共政策室 公共政策担当

次に、当協議会三川代表理事事務総長よりプレゼンテーション「SNS・カウンセリングの質の向上に向けて」としまして、当協議会による「SNS カウンセラー認定登録制度」の開始を発表しました。



そして第二部では、事例報告「児童虐待を防止するためのLINE相談トライアル実施」と題して、東京都福祉保健局 少子社会対策部 計画課 課長代理 中村浩太郎様より、「東京都で実施した LINE 相談では、児童相談所に引き継いだケースや、保護者からの相談が非常に多かった」等、興味深い結果を共有していただきました。

続くパネルディスカッションでは「SNS相談の可能性～児童虐待、自殺、労働、引きこもり、女性相談、ひとり親、性犯罪、産業、災害等～」として、①相談者はサポート情報をもっていないことが多いが、SNSによりテキストで提供ができる、②LINEは匿名性が高く、誰でも安心して相談ができる、③対面と違い、SNSではカウンセラーから相談者へ積極的に歩み寄れる等、特にメリットについて討論していただきました。また、利用したユーザーの8割が満足しているという結果も報告されました。

[パネラー兼コーディネーター]

浮世 満理子 様 一般社団法人 全国心理業連合会 代表理事

[パネラー]

深津 研太 様 ダイアル・サービス株式会社 営業2部 部長

江原 和比己 様 東京メンタルヘルス株式会社

次世代コンディショニング推進室 室長

小原 新 様 一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 会長

最後に、今野常務理事より「今から50年前、電話からはじまった相談窓口が、今SNSにボタンタッチされようとしている。この国がもっと良くなるようにみなさまのお力添えをいただきたい」との挨拶をさせていただき、終了となりました。

今後とも当協議会におきましてご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。